

# ケアハウスってどんな住まい？

元気なときからの早めの住み替え先のひとつに「ケアハウス」があげられます。高品質な住環境に、食事や入浴などのサービスがつき、年金内の費用で暮らせるとあって、とても人気の高い住まいです。けれども、1990年のゴールドプランに制度化されてから20年以上が経過し、ケアハウスの状況も変わってきました。そこで、シニアライフ情報センターでは、東京・神奈川・千葉・埼玉の1都3県のケアハウスを対象にアンケート調査を行い、ケアハウスの現状について整理したので、ご報告します。

対象：1都3県ケアハウス  
 時期：平成23年5月  
 方法：FAXによる  
 アンケート調査

満室でも待機者は少ない

回答のあったケアハウスのうち、48%の施設は満室。平均入居率は94.7%でした。80%〜95%未満のケアハウスも約3割あり、約半数のケアハウスで空き室があることがわかります。特に二人部屋が空いているというところが多いようです。

待機者の数は「5名以下」が44%、「6名〜10名以下」が12%と、待機者10人以下の施設は、合わせて56%になります。中には100名以上の待機者がいる施設も3件ありましたが、平均すると待機者数は17.5人。ちなみに、昨年1年間の平均退去者数は7.3人です。満室でも申込みをして1年ほど待てば機会を巡ってきそうです。

半数が軽度の要介護者

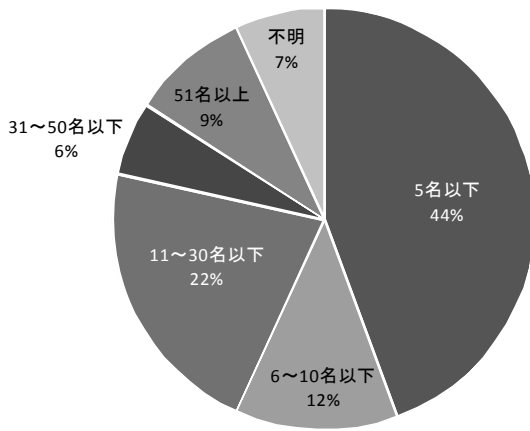
入居者の状況を見ると、平均年齢は82.6歳、入居者の75%は女性です。80代の女性入居者が多い状況、ケアハウスに限らず、どの介護施設でも同じようです。

身体状況を見ると、自立の人が41%と、要支援・要介護認定を受けている方が多いのがわかります。自立者を対象に、早めの住み替え先として始まったケアハウスですが、開設して10年以上経過している施設が多く、入居者も高齢化し要介護度も上がってきているのが現状のようです。ただし、要介護度別では、要支援1・2の方が43%をしめ、比較的元気な方がほとんどです。

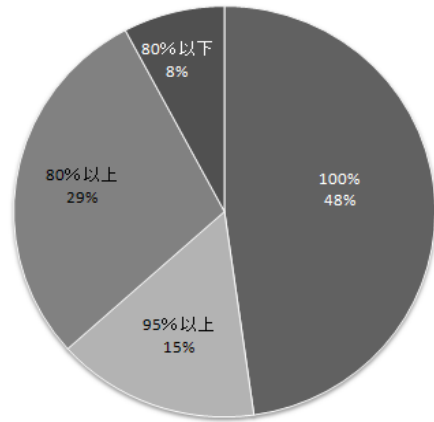
約8割のケアハウスで  
独自サービス提供

では、虚弱になった入居者は、ケアハウスでどうやって暮らしているのでしょうか。介護認定のついた方は、介護保険の居宅サービスを使って、居室の清掃や衣類の洗濯、入浴の見守りなど訪問ヘルパーを利用して暮らしています。デイサービスやリハビリに通っているという話も聞きます。こうした暮らしは、自宅にいる場合と変わりませんが、食事づくり、お風呂の準備は施設が行うので、家事の負担がない分、随分と楽に暮らせます。

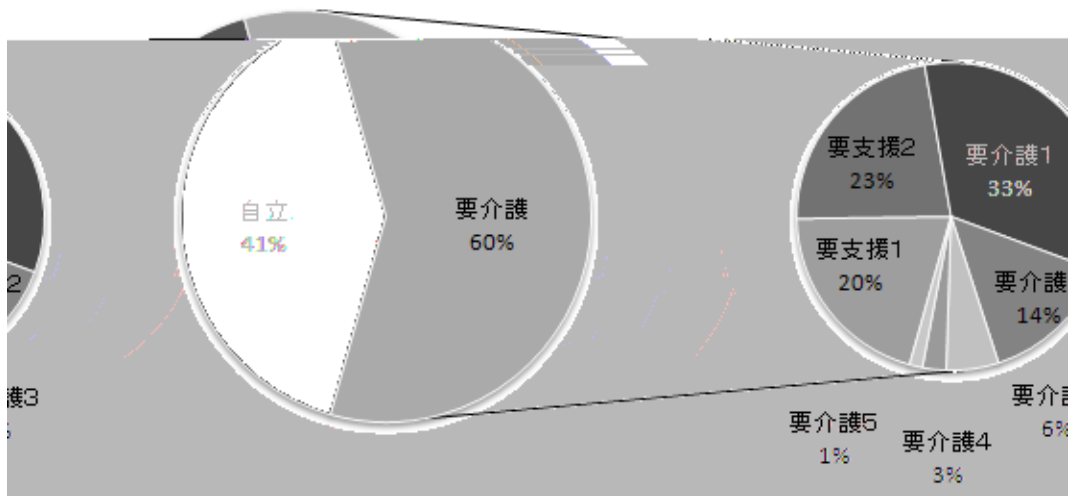
問題は、要介護認定までには至らないけど支援が必要、介護保険では難しい隙間のサービスが必要な場合です。例えば、体調が悪くて食堂に行くのが大変、杖をついて歩



【待機者数】



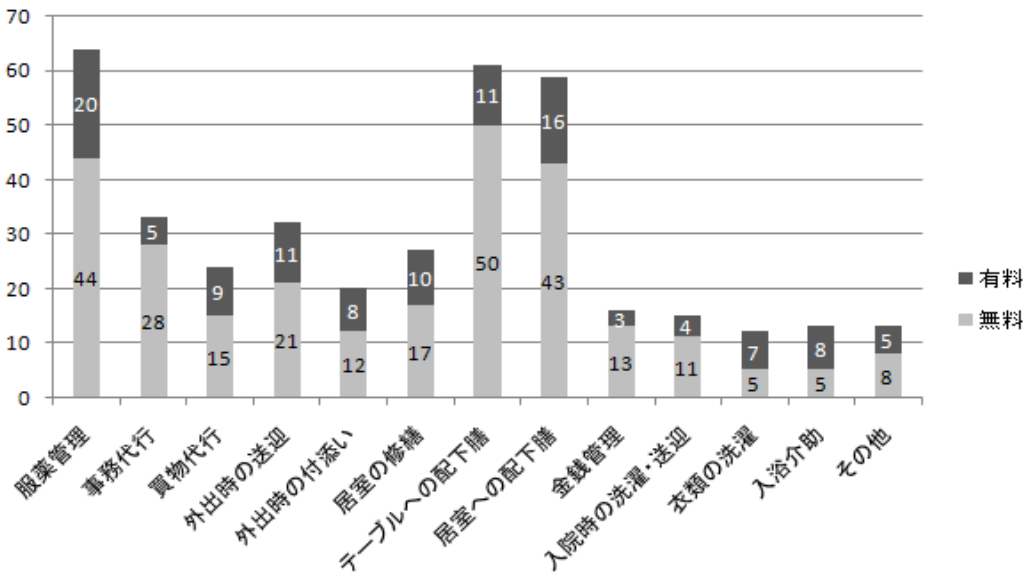
【入居率】



【入居者の身体状況】

いているので、トレーを持って食事を座席まで運ぶのが大変、といった事です。

こうした入居者を支えるため、約8割のケアハウスで介護保険以外の独自サービスを提供しています。最も多かったのが「服薬管理」64件、次いで「テーブルへの配下膳」61件、「居室への配下膳」59件でした。無料で提供している施設が多いですが、「一時的に行う場合に限り無料で提供」「はじめは無料で行っていたが、サービスが必要な入居者が増えたので有料化した」「職員や入居者の好意で行くと、トラブルのもとになるので、有料化した」といった意見もあり、無料で行うかどうかは、施設の方針で違いがあるようです。



【独自サービスの種類】

## ケアハウスって何？

社会福祉施設の軽費老人ホームのひとつ。60歳以上の高齢者を対象に、食事・入浴・緊急時対応のサービスが受けられる。

### 設備基準

居室は21・6㎡以上。トイレ・洗面・ミニキッチン・収納が備え付け。

### 職員配置基準

入居者50人の場合、施設長1人、生活相談員1人、介護職員2人、栄養士1人、調理員4人。費用の支払い方法

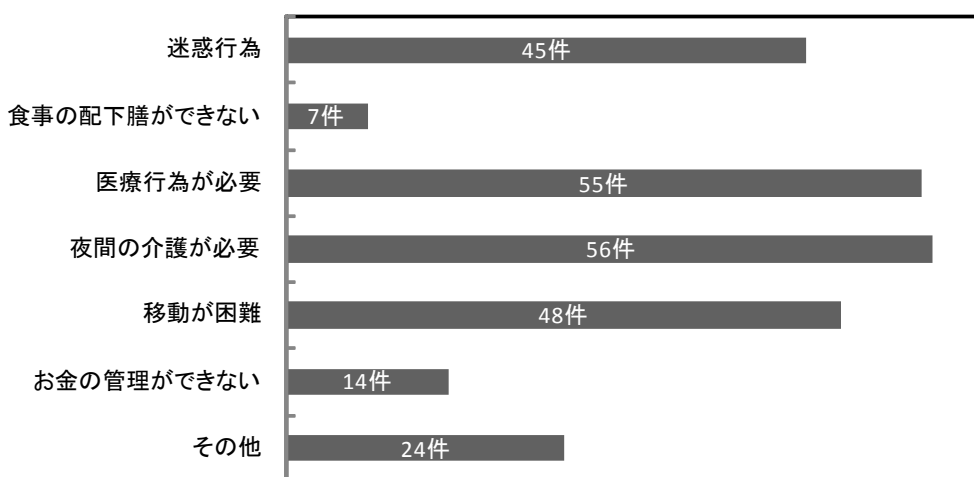
管理費の一括、併用、分割払いがある。最近では分割払いがほとんど。月額費用

月額費用は、「管理費」「事務費」「生活費」と決められている。管理費は家賃のこと。事務費は人件費や運営費にあたり、所得に応じて補助がある。生活費は食費の事。その他に、施設によっては暖房費にあたる冬期加算（11月～3月）を徴収する所もある。

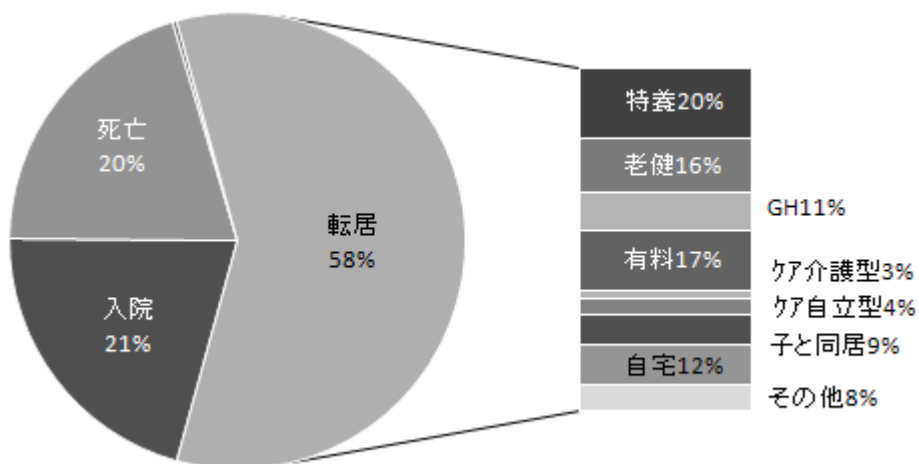
迷惑行為、夜間の介護が必要になったら住み替え

こうして、できるだけ長い期間ケアハウスで暮らせるよう、施設側もサポートしているようですが、それでも限界があります。認知症の徘徊や夜間の介護が必要になった時です。そうした場合、介護施設に転居することになり、一番多い転居先は特別養護老人ホームです。けれども、特養は待機者が多くなかなか入れないので、老人保健施設で過ごしなが、特養が空くのを待つ方も多いようです。費用の負担が可能な方は、有料老人ホームやグループホームといった選択肢もあります。また、怪我などで入院し、3か月以上の入院や、ケアハウスで暮らせるほどの回復が見込めない場合も、退居となる施設が多いです。

(長岡)



【退去を促す判断基準】



【退去先の内訳】